

## 令和6年度 第4回 佐久間中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和7年2月14日(金) 14時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 佐久間中学校 会議室
- 3 出席委員 高氏 秀佳、古尾 春子、奥山 和子、笹野 訓子、向坂 美保、山本 巖
- 4 欠席委員 平賀むつみ、鈴木 千穂、塩澤 充彦
- 5 オブザーバー 鈴木 充弘(佐久間支所地域振興グループ長)  
長谷川陽子(佐久間図書館)  
大見 芳(NPO法人がんばらまいか佐久間 理事長)
- 6 学 校 西田 亮(校長)、鈴木 政晴(教頭)、高原 英樹(教務主任)
- 7 傍 聴 者 0人
- 8 教育委員会 清水 悠 (教育総務課)
- 9 会議録作成者 CSディレクター 新聞千代子
- 10 会議記録

司会の教頭から、委員総数9名のうち6名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。また、会長が議長として議事を進行してもらおう旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 熟議

#### (1) 学校関係者評価について(教務主任)

議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき報告があり、委員からは以下のような発言があった。

- ・ 自己評価結果を見ると、生徒、保護者、教員、運営協議会委員のいずれも肯定感が高く、学校教育活動への満足度が高い。不登校、保健室登校の生徒がいないことやいじめ認知数が0であることから、生徒と教職員の人間関係が良いことがすべての根底にあるように思う。(高氏会長)
- ・ 不登校やひきこもりなどの問題はないか。(山本委員)  
→登校しぶり傾向がある生徒はいるので、その都度生徒との関わりを大切にし、教員が対応している。生徒同士は適度な距離の取り方が上手であり、その点が少人数の課題でもあると考えている。(教務主任)
- ・ 少人数でも人間関係が良いことが、すべてにおいて良い方向につながっているのだろう。(山本委員)
- ・ 校区の小学校を参観しても同じ様子が見られ、少人数での人間関係づくりがうまくいっていることに感謝したい。(古尾委員)
- ・ 評価項目の内容について、保護者から「分からない」との回答が多い「授業で学んだことを他教科や日常の場面で活用しているか」を見直したらどうか。(高氏会長)

## (2) 学校運営協議会の自己評価について(教頭)

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき報告があり、委員からは以下のような発言があった。熟議の中心は<評価項目3>「協議結果について、十分な情報発信を行ったか」に絞られた。

- ・ 協議会の情報発信について制度設計はどうなっているのか。(高氏会長)  
→協議の結果について地域の理解を得つつ、支援協力を得られるようにするための情報提供を積極的にすることになっている。本協議会の熟議内容を自治会をはじめとする他組織で広く広めてもらいたい。特にどこまでの情報発信をするのか、細かい規定はない。(教育委員会・清水)
- ・ 浜松市のホームページは部署ごとに、知りたい、調べたいと思う人がいつでも閲覧できるような目次になっている。(鈴木オブザーバー)
- ・ 佐久間図書館も、情報発信の方法は掲示物が多い。利用者にアンケートを取ると「ネットで情報を得る」の割合は低い。若い人用にホームページの発信は必要だが、佐久間ではアナログな掲示物が有効。(長谷川オブザーバー)
- ・ 回覧板もよく読む人と全く読まない人がいる。回覧板や病院・店舗の掲示を情報源としている世代も一定数いる。(笹野委員)
- ・ 回覧版や掲示をよく見ている 話題にもなる。頼りにもしている。(古尾委員)
- ・ 協議会の情報よりもむしろ子供たちの活躍や学校の情報を広報していく方が大切。協議会の熟議内容が地域住民に周知されているか、ではなく、熟議した内容が学校経営に反映されているかが伝わればよいのではないか。(大見オブザーバー、笹野委員)

## (3) 来年度の学校運営の基本方針について(校長)

校長から、来年度のグラウンドデザイン案について、本年度との違いについて説明があり、委員からは以下のような発言があった。

- ・ 『前始末』と『ティーチャーからファシリテーター』とは何か。(高氏会長)  
→後始末に対して、前始末。事前指導、事前準備、インシデント管理。(校長)  
→ファシリテーターは、回す・振る・皆の意見を吸い上げること。教員が自分だけで授業を回すのではなく、それぞれの子供がそれぞれのやり方で進められるようにする役割、自分の課題に対して取り組んでいけるように準備する役割であること。(校長)  
→分かりやすい言葉で表現するように変更したい。(校長)
- ・ 昔は挙手して発表してまちがえるのが恥ずかしかった。今は、生徒のつぶやきを拾い上げて広げる先生が多くなった。自然な言葉が伝わっていく感じがする。そういうことか。(笹野委員)
- ・ 失敗しないための事前指導ではなく、「失敗してもよい。失敗した原因は何か。」を考えさせるような指導であってほしい。(笹野委員)

- ・ 学校教育目標「ころざしを持ち」は、強弱ではなく「持つことが大事」という捉え方であってほしい。これから社会に出ていく子供たちには、たくましさや競争心も必要になる。切磋琢磨してほしい。(大見オブザーバー)

協議の結果、全員異議なく来年度の学校運営基本方針を承認した。最後に校長より、来年度の留任委員について説明があった。

#### (4) 休日の部活動地域移行について(校長)

校長から、「はままつ地域クラブだよりNo.7」に沿った浜松市の現状について説明があった。質疑もなく、来年度は熟議の柱の1つになっていくことを確認した。

#### 8 浜松市教育委員会教育総務課から(清水)

今後も地域が学校と連携して学校経営を支えていただきたい。教育総務課として、必要な情報提供をしていけるよう適切にフォローしていきたい。

#### 9 連絡

- ・ 夢育やらまいか(CS加算分)について (教頭)  
6万円を終日探究の日のタクシー借り切りに充て、充実した活動ができた旨、報告があった。来年度も同様の活動を実施したいという希望があった。
- ・ 健全育成会だよりの地域掲示について(教頭)  
第2回協議会で提案があった「地域への拡大掲示」について、委員が分担して掲示する旨、依頼があった。会議終了後、分担して掲示物を持ち帰った。
- ・ 次回、運営協議会の開催予定(教頭)  
次回会議は、令和7年4月8日(火)入学式後、14時30分から佐久間中学校会議室で開催する旨の報告があった。